令和８年度　道徳教育の全体計画

宮城県貞山高等学校

生徒の実態

入学の目的や学習習慣、生活習慣は多様である。集団への適応力、協調性、コミュニケーション能力に自信を持てずにいる生徒も多い。

校訓

自立・友愛・創造

関係諸法令

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 学習指導要領
- 宮城県教育委員会施策

教育目標

自主・自立の精神を尊び、自由と責任を重んじ、創造性豊かで社会の向上・発展に寄与できる人材を育成する。

地域の実態

学校教育に対する関心が高く、本校の科目履修や県民大学にも積極的に参加し、生徒との交流を深めている。

教育方針

1　多様性ある教育課程を編成し、個性の伸長を図る。
2　自学自習の習慣を育み、基礎学力の定着を図る。
3　校外の環境や資源を活用し、社会への関心と参画意欲を育む。
4　勤労を尊び、強健な身体と豊かな情操を培う。
5　特別活動を重視し、相互友愛と貢献の精神を涵養する。
6　ユニバーサルデザインを通じ、公平・安全を保障する。

推進体制

- 校長、教頭
- 主幹教諭
- 各分掌部
- 各種委員会
- 各教科
- 各年次

家庭との連携

経済的な問題や個別の家庭環境などに配慮しながら、生徒の卒業と進路希望実現に向け、学校と家庭の連携を深める。

道徳教育目標

1　社会のルールやマナーを理解し、責任を持って行動できる生徒を育てる。
2　夢や希望を持ち続け、その実現に向け粘り強く努力する生徒を育てる。
3　社会の向上・発展に貢献する生徒を育てる。

生徒指導協力体制

- 昼間部と夜間部の連携
- 校内研修の充実
- 生徒会活動の支援
- 部活動の指導

各教科の努力目標

［国語］適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにする。
［地歴］わが国および世界の歴史や生活・文化について理解を深め、国際社会に生きる一員として必要な自覚と資質を養う。
［公民］社会について主体的に考察させ理解を深めるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を育て、社会の有為な形成者として必要な、公民としての資質を養う。
［数学］数学の概念や原理・法則の理解を深めることで、物事を数学的に考察し処理する能力を高めるとともに、それらをより良い生活のために活用する態度を育てる。
［理科］自然に対する関心や探究心を高め、科学的に探究する能力と態度及び自然観を育てるとともに、それらをより良い生活のために活用する態度を育てる。
［保健体育］生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のために体力向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。
［芸術］芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、豊かな情操を味わい道徳性の基礎を培う。
［外国語］外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深めながら実践的コミュニケーション能力を養う。そして異なる文化を持つ人を理解し、共に生きていく態度を育てる。
［家庭］人間の健全な発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族や家庭生活に必要な知識と技術を習得させ、男女が協力して生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。
［情報］情報技術を活用するための知識と技能を習得し、情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、他人に対する配慮や情報モラルの大切さを理解し、実践できる能力と態度を育てる。
［商業］商業の分野に関する基礎・基本的な知識と技術を習得させ、社会モラルやビジネスマナー等の倫理観の育成に努める。
［コミュニケーション］自己および異なる立場にある他者への理解を深めるとともに、その場に応じた表現を適切に判断し、よりよくコミュニケーションを取ろうとする態度を育てる。

特別活動

［全体目標］心身の調和のとれた発達、個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。また、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、さまざまな集団での他との関わりにおいて、自己を生かす能力を養う。
［ホームルーム活動］クラスの一員としての自覚を高め、学校生活への適応を図る。人間としての在り方生き方に関する取り組みを通して、道徳教育の充実を図る。
［生徒会活動］生徒会において、学校生活の充実や改善、そして向上を図ろうとする態度を養う。また生徒会行事への取り組み・参加を通じて、協力の精神を養うとともに、学校への帰属意識を高める。
［学校行事］学校行事において集団生活の在り方、公衆道徳、環境美化についての体験を積むことにより、自らの在り方生き方を見つめ直す。また、文化祭等における保護者との連携、地域への公開を通じて、多くの人々に支えられた学習環境の中で学んでいることを実感し、感謝の気持ちを持つ。
［部活動］心身の調和のとれた発達と集団での関わり方を学ぶ。

総合的な探究の時間

［全体目標］探究の見方・考え方を働かせ、地域や社会に目を向け、自らの在り方生き方を考えながら、自ら見つけた課題を解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（1）現代的な諸課題に関わる探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付ける。
（2）現代的な諸課題について、自己との関わりから問いを見いだし、その解決に向け、見通しをもって調べ、得た情報を整理・分析する力を身に付けるとともに、考察したことを、根拠を明らかにしてまとめ、表現する力を身に付ける。
（3）現代的な諸課題についての探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、自ら社会に参画・貢献しようとする態度を育てる。